

Q: 大規模防災拠点への市の今後のアプローチは

A: 県に対して強く意見を申し述べてまいる。



秋本直嗣議員

定例会では、議案に係らず市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

庁舎のシャッター開閉の時間について

秋本 昨年の9月定例会で質問した内容を、いち早く対応いただきありがたい。4月1日からシャッターの運用等がどう変わるのかを伺う。

総務部長 これまでのシャッター等の運用時間は、月曜日午前7時に開き、金曜日午後6時に閉めていたが、令和6年4月1日からは、平日の午前8時30分から開き、同日の午後5時15分に閉めることとする。東側玄関及び南側玄関については、平日は午前8時から午後6時までの間、休日は午前9時から午後5時までの間は開錠し、これまでどおり運用する。

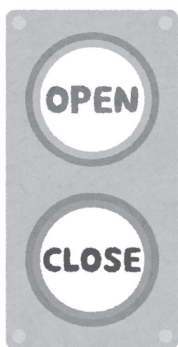
秋本 午後5時15分にシャッターを閉めるとのことだが、窓口受付中の来庁者の

対応はどうするのか。

総務部長 定刻になると、シャッター等は閉鎖、施錠するが、受付中の来庁者についてはそのまま対応し、完了後、職員が出口までご案内する。

秋本 今回シャッターの運用が変わることについて、市民への十分な周知が必要になってくると考えるが、どのようにするのか。

総務部長 すでにご案内している広報3月号、庁舎玄関前での掲示、市ホームページへの掲載や公式LINEでの発信を行っているほか、自治会回覧での案内を行う。



大規模広域防災拠点について

秋本 先日、奈良県主催で知事から説明会があり、地元の方を中心に、たくさんの方が参加していた。説明は、奈良県知事が一方的にスライドで説明をするといった形で進められていた。これには異議を唱える方も多かったように思う。私の勝手な印象だが、今回の説明会については「火に油を注ぐような説明会」だったと感じた。その後の質疑でも終始張り詰めた空気感のまま終了となり、終了時に皆さんの意見をお聞きすると、誰一人として納得して帰る方はいなかった。このようにたくさんの方に負の感情を抱かせるというのは知事としてはいかがなものかと感じる。今後の五條市はどのようにアプローチをしていくのか、方針を伺う。



市長 地元の方が「知事の計画は到底受け入れられない。」と非常に怒っておられることは承知している。また五條市議会では「太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例案」が議論・検討されていると伺っている。市としては、地元の皆さんや市議会の意向を十分に尊重し、歩調を合わせて県に対して強く意見を申し述べてまいる。

その他の一般質問

◆母子手帳の電子化について

①政府の制度見直しの方針について

Q: 中央公民館3階トイレの早急な改修工事を求める。

A: 早急に検討してまいる。



山口耕司議員

避難所となる施設の老朽化対策・防災機能強化の推進について

(1) 建築基準法に基づく施設の点検について

山口 避難所となっている学校や公民館の特殊建築物の法定点検の結果は、どうなっているのか伺う。

教育部長 閉校した学校を含め、12校で敷地・外壁・床・天井など3年に1回行い、9施設で外壁のクラック、タイルの浮き、屋上の防水材の劣化が指摘されている。中央公民館・地区公民館では、年1回実施し軽微なクラックや天井のはがれなど指摘を受け、適宜補修対応を行っている。

(2) バリアフリートイレについて

山口 バリアフリートイレの基準について伺う。

都市整備部長 奈良県の条例では、車いす使用者が利用可能な広さは、2メートル×2メートルを標準とし、車椅子が回転できる空間

(1.5メートル程度)を設けるよう配慮すること、出入口の幅は85センチメートル以上で引き戸にすること、洋風便器を設けることなどが定められている。

(3) 中央公民館・地区公民館のトイレについて

山口 中央公民館の利用人数を伺う。

教育部長 令和4年度の開館日数は294日で、1万1,075人の利用人数、一日平均38人である。

山口 新型コロナウイルス感染症の影響が今後減少し、さらに利用人数が増加すると思われる。中央公民館は築47年が経過し、途中で改修工事が行われているが、便器など古くなっている。今後、トイレの改修工事を進めて行くのか伺う。

教育部長 洋式便器への改修やバリアフリー化などの必要性は認識している。地区公民館も併せ、今後の施設の在り方など踏まえ、適正な整備を考えてまいりたい。

い。

山口 3階のトイレは、資料の写真でも示したように、トイレ入口に「障がい者のための国際シンボルマーク」を貼付してあるが、このマークは「すべての障がい者を対象」としたもので、特に車椅子を利用する障がい者を限定し、使用されるものではない。早急なトイレの改修をお願いしたい。

市長 先日、現場へ行き、障がい者のためのシンボルマークに適合していないことを確認した。今後、中心市街地活性化・にぎわい創出のためのまちづくりの計画もあるが、3階のトイレ

については早急に検討してまいりたい。

その他の一般質問

◆命を守る自動体外式除細動器(AED)について

①屋外設置に向けた取組について

②色つき三角巾の配備について

◆認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて

①認知症に対する正しい理解を深める広報活動の展開について

②認知症の人への理解を深める体験教育について
③認知症のスクリーニングの推進について



中央公民館3階
洋式トイレの現状



3月22日に設置された便器

Q：大規模防災拠点について

A：要望、請願を提出した。今までの経緯を踏まえ、地元の意見や要望等を県へ伝えてまいる。



仲山 嘉議員

出産給付応援について

仲山 少子高齢化は深刻な問題である。五條市の子育て世帯に対する現金給付等の支援について伺う。

すこやか市民部長 全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・育児ができる環境を整備するため、妊娠届出時から妊婦及び低年齢期の子育て家庭に寄り添い、身近で相談に応じ必要な支援につなぐ伴走型の相談支援に併せて、出産育児関連用品の購入費の負担軽減を図る経済的支援を一体的に実施する事業を実施している。

仲山 出産給付応援金として、五條市で生まれた子供一人につき、100万円を一括で給付するのではなく20歳まで何回かに分けて合計100万円になるように給付するという事業は、いかがか。

市長 公立小・中学校の給

食費の無償化、第二子以降の保育料の無償化を行い、五條市で安心して子育てを行っていただけのような取り組みでまいる。ご提案の事業については、検討材料として考えてまいる。

地域公共交通について

仲山 地域の高齢化が進むなか、停留所まで移動することが難しくなるなど、より利用者に寄り添った改善が求められている。現状や取組について伺う。

総務部長 第二次ゴーちゃん交通計画及び五條市地域公共交通利便増進実施計画に基づき、コミュニティバス等の運行及びその改善に取り組んでいる。五條地区では、五條バスセンターを地域公共交通の主要結節点とし人口が多い場所や主要拠点へは路線バスやコミュニティバス等を運行、周辺地区から中心市街地へ予約

制乗合タクシー等を運行する。西吉野、大塔地区では、各支所でコミュニティバスと路線バスが接続し五條方面への移動手段を確保している。



大規模広域防災拠点について

仲山 山下奈良県知事が見直した事業について、2月19日にシダラーアリーナで地元説明会が開催された。知事は民主主義の仕組み、選挙公約にも触れて説明して

いたが、道義的な責任も含めて、地元としても私自身としても、到底納得できるものではない。市としてのこれからの対応や考え方、地元への対応について伺う。

危機管理監 1月24日の発表を受けて、2月19日に山下知事には要望書を、岩田県議会議長には請願書をお渡しし、太陽光による大型電源施設の整備方針を撤回すること、用地協力をした地権者や地元住民の意思を尊重し、当初の理念に従って整備を行うこと、国道168号バイパスは県南部地域の振興に寄与するものであり、防災拠点にひも付けることなく整備を促進することを強く求める文書を提出した。今後は、これまでの経緯をしっかりと踏まえ、地元の意見や要望等を県へ伝えてまいる。



谷 勝啓議員

Q: 小・中学校のトイレの洋式化について

A: 令和6年度から5か年で計画。工事の進捗状況により、全体の工期短縮を検討する。

小・中学校のトイレの洋式化について

谷 来年4月に小学校に入学者の子を持つ保護者から、牧野小学校には洋式トイレが一つしかなく、ほかは和式のトイレで、入学までに和式でできるように家で練習しておくように先生から言われたとの相談があった。みらいこども園のトイレは全部洋式で、また、今どき和式のトイレがある家は非常に少ない。現状では、その一つしかない洋式に女子は並ぶときがあり、低学年の男子は洋式の個室に入ると「大をしている」と思われるのが嫌で学校では我慢をしている子もいると聞いた。そんな状態で学習に集中することができるのか疑問である。和式のトイレを使えない子供たちが多いなか、市内の小・中学校の洋式トイレの現状について伺う。



教育部長

本市の小・中学校7校については、371基のトイレのうち、現在116基が洋式化されており、洋式化率は31.3%である。

谷

他市の状況について伺う。

教育部長

県内及び近隣の主な自治体の洋式化率は、奈良市が83.9%、橿原市が50.8%、御所市が37.3%、県全体では68.0%である。

谷

県全体で平均68%も洋式なのに、五條市は半分以下の31%と低い状況である。今後の取組について伺う。

教育部長

令和5年度末で、トイレ洋式化に係る設計業務が完了しており、市長が施政方針で述べたとおり、洋式化改修工事を令和6年度から5か年計画で順次着工する予定である。



谷

五條市の小・中学校のトイレの洋式化に5年もかかる。長期休みの夏休みにもかかわらず、春休みや冬休み、また休みの間は夜間工事もできると思われる。もっと早く整備できないのか伺う。

教育部長

令和6年度から開始する改修工事の進捗状況を見ながら、全体の工期を短縮できないかを検討してまいります。

谷

牧野小学校の低学年トイレの洋式化が特に優先と考える。みらいこども園以外のこども園は和式トイレがあり練習もできるが、みらいこども園には和式が一つもない。防災のために牧野小学校の体育館トイレを洋式化すると聞いているが、低学年トイレのほうが、目の前のこと、最優先だと私は思う。

五條市は、このままではどこの市町村よりも過疎化が進むと思われる。何十年も先の夢のような新金剛トンネルも大事だが、着工したはずの大規模広域防災拠点かメガソーラーに変わるかもしれない。目の前のことを最優先して、進めていただきたい。

Q: 大規模防災拠点について、今後の市としての進め方は

A: 地元の意見や要望等を県へ強く伝えてまいる。



中山俊樹議員

大規模広域防災拠点について

中山 前奈良県知事のごときは、2,000メートル級滑走路を伴う防災拠点や消防学校も建設されるような話であったが、山下知事はこの事業を見直し、防災拠点としてメガソーラー、ヘリポート、備蓄倉庫をするという発表で、2月19日の地元説明会には私も出席した。私個人の考え方としても、一旦、前の計画で了承したことについて知事から丁寧な説明もなく計画を変えてしまうことについては、道義的にしてはならないことであると違和感を持っている。今後の市としての進め方について伺う。

危機管理監 旧プレディアゴルフ場の県有地においては、

2月19日に大規模広域防災拠点等の整備にあたり、当初の理念に従って実施していただけよう県へ要望した。今後とも今までの経緯をしっかりと踏まえ、地元の意見や要望等を県へ強く伝えてまいる。

やまと広域環境衛生事務組合議会の報告（概要）

去る2月16日、やまとクリーンパークにおいて開催されました令和6年やまと広域環境衛生事務組合議会第1回定例会の概要を報告いたします。

本会議に先立ち、全員協議会が開催され、新たに副管理者に就任された高江啓史田原本町長、並びに、新たに議員に就任された本市議会の福塚 実議長及び田原本町議会の持田尚顕副議長の紹介があり、日程の確認等が行われ、全員協議会は終了しました。

本会議では、南議長の開会の宣言に続き、管理者の東川御所市長から議会招集の挨拶があり、開議宣言、議席の指定、会議録署名議員の指名が行われ、会期を1日間とすることが決定され、議案審議に入り、令和5年度やまと広域環境衛生事務組合一般会計補正予算（第2号）については、歳入歳出予算の総額からそれぞれ3,117万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を、11億7,255万6千円とするもので、健康増進施設事業負担金を減額するものであり、歳

入においては財政調整基金繰入金を減額するものであるとの説明があり、討論はなく、採決の結果、全員一致で原案のとおり可決されました。

次に、令和6年度やまと広域環境衛生事務組合一般会計予算については、歳入歳出予算の総額は10億2,565万8千円とし、歳入のうち、構成市町負担金は8億5,868万1千円、他市町村負担金は5,617万2千円、売電収入は8,500万円等で、歳出については、健康増進施設費1,507万円、財政調整基金積立金1億4,438万円、ごみ処理費7億3,759万2千円等であるとの説明があり、議員から、吉野町の一般廃棄物処理負担金について健康増進施設についておよび系統連携受電サービス料についてそれぞれ質疑があり、討論はなく、採決の結果、全員一致で原案のとおり可決され、本会議は閉会いたしました。



市議会だよりGOJO 表紙を飾っていただく写真を募集しています

五條市内の風景や行事等、応募者のオリジナル作品で、作品名、撮影場所、お名前、ご連絡先をご記入の上応募願います。

【応募方法】

画像データを、右記アドレス宛に電子メールで送信してください。

※ご応募いただいた写真は返却いたしません。また、謝礼もございません。掲載写真の著作権は作者にあり、使用権は五條市に帰属するものといたします。

gojoshi-gikai@kcn.jp



**能登半島地震被害と防
災対策の拡充について**

大谷 龍雄議員

大谷 石川県の家屋の倒壊

は、一部損壊と全壊で約7万5千棟、このうち昭和56年法改正以前の住宅が珠洲市では65%でした。耐震工事の補助額は200万円でも進んでいなかったこの教訓から、奈良県の50万円を和歌山県並みの100万円に引き上げるべきではないか。

都市整備部長 補助額拡充については国・県の方針転換を注視し取り組む。

Q: メガソーラーは、災害発生可能性と危険性が高い。中止を県へ求めるべきでは
A: 太陽光による大型電源施設方針を撤回するよう要望している。

大谷 被害者の救命、救出状況は、消防庁長官が1月1日夜、11府県に出動を指示、合計約1,900人出動、しかし被災地域は道路の損壊が激しく、ヘリコプターか重機で岩石等を取り除きながら、1月4日までに入れたのは1,900人のうち約1,000人。この教訓からの対策としては、



複数機のヘリコプターが離発着できる大型ヘリポートと災害の多い地域の消防署への早くからの重機の配置が必要ではないか。

危機管理監 大型ヘリポートを県へ要望している。重機の消防署への配置は慎重に検討する。

大谷 石川県の避難者は約14,500人になっている。五條市の公共、民間の避難所数と、空調、耐震の整っているのは何か所か。

危機管理監 本市の公共の避難所は47か所、民間は2

か所である。耐震完備は41か所、空調完備は26か所。

大谷 断水、停電、燃料不足も多いが、奈良県の水道一体化計画にある大規模浄水場3か所は残し、中小規模浄水場15か所を3か所に減らす計画は、災害時に断水世帯を増やすことになるのではないか。

水道局長 統合後直ちに8か所にはしない。災害時のバックアップ機能を確保しつつ順次減らしていく。

県知事のメガソーラー構想の危険性と県への要請について

大谷 前知事がゴルフ場62万平米を36億円で購入した後、山下知事は25万平米にメガソーラーを設置し、1万平米にヘリポートや備蓄倉庫を設置すると表明しているが、専門家の見解では降った雨はゴルフ場の場合6割が流出するがメガソーラーの場合は9割となり、

下流域に大きな災害発生のおそれがある。また、送電線(4ミリガウス以上)の近くでは、それ以外の場所に比べて白血病の発症率が2.7倍も多いことが国立環境研究所の調査で判明している。さらに資源エネルギー庁の事業計画では事業計画作成の初期段階から地域住民と適切なコミュニケーションを図り、実施するよう

にとなっている。したがって、メガソーラーを中止しその税金を耐震工事の補助額を100万円以上に引き上げるよう県へ要請すべきではないか。大型ヘリポートや備蓄倉庫は必要となるが、2,000メートル級滑走路や国道168号バイパスは能登空港が損壊した状況からみると損壊の恐れがあり、不必要と考える。
危機管理監 太陽光による大型電源施設方針を撤回するよう要望している。

Q: 短期雇用宿泊施設の確保について

A: 市営住宅は、公営住宅としての用途廃止後に今後の有効活用を検討する。



吉田 雅範議員

1月1日能登半島地震被害で亡くなられた方々の御冥福を心からお悔やみ申し上げます。未だ行方不明の方々が一日も早く発見されますことをお祈り申し上げます。

水道事業について

(1) 県域水道一体化による未普及地域の解消について

吉田 令和7年4月から広域水道企業団に移行するが、大塔町・西吉野町・旧五條市の一部で谷川の水を飲料水に使用されている方への市の対応について伺う。
水道局長 採算性を重視して事業化されない恐れがある。

吉田 飲料水は命の水なので、切り捨てることは死活問題なのでよろしくお願ひしたい。

デジタル推進事業について

(1) 現場業務の効率化とタブレットの導入について

吉田 自治体のデジタル化・DX推進での効率化が課題である。タブレットの導入がペーパーレス化に有益と考えるが、どのようにお考えか伺う。

総務部長 議会運営の効率化に向けて、タブレット導入の予算化について議会事務局と協議する。

小・中学校の環境改善対策について

(1) 公立小・中学校のトイレ洋式化改修工事について

吉田 施政方針で令和6年度から5か年計画で順次着工する予定と伺っている。以前、ほかの施設でトイレ洋式化改修工事のお願いをした際には一週間で完成したので、事務事業を迅速にお願いしたい。

農林業の振興について

(1) 農業の担い手不足と短期雇用宿泊施設の確保について

吉田 柿の生産量日本一の本市も、担い手不足は深刻である。柿や梅の農繁期の雇用者も遠方の方が多くなり、生活する住宅の費用も経営を圧迫している。公営住宅法もあるが、空き家となっている市営住宅の活用はできないか。

都市整備部長 入居については公営住宅法に基づき公募している。市営住宅の耐用年数の経過した住宅のうち、耐震性等の使用条件を整理したうえで公営住宅と



しての用途廃止を行い、今後の有効活用を検討してまいる。

大規模広域防災拠点整備事業について

吉田 地元の理解が中心であり、整備を当初の計画通りにすることが必要である。国道168号の早期整備が必要である。

五條市西吉野きすみ館について

吉田 休館中のきすみ館の今後について、改修の設計はすでにできていると聞いているが、今後どのようにしていくのか伺う。

産業環境部長 市として民間の活用を検討しているが、財政状況を見ていきたい。

市長の公約について

吉田 給食費の無償化、地域交通対策事業、新金剛トンネル建設についてスピード感をもって実行していることに感謝申し上げます。